

# 北町西小 ことばの教室

令和5年 第5号 学級通信  
練馬区立北町西小学校  
特別支援学級（言語障害通級指導学級）  
TEL/FAX 3932-7631 教室直通



少しずつ、秋の訪れが感じられるようになり、学習、スポーツ、読書などに取り組みやすい季節になってきました。それぞれの在籍校でも、運動会、展覧会、学習発表会などに向けて練習に励んでいることと思います。この時期は、気候の変化や疲れで体調を崩しやすい時期です。体調管理に気を付け、元気に通級してください。

## 行事予定

### <10月>

- 10日（火）都難言協専門研究会（午後出張あり）
- 17日（火）小中合同研修会（午後会議）
- 24日（火）吃音グループ学習  
（15:00～16:00）

### <11月>

- 7日（火）江北ブロック研究会（午後出張）
- 11日（土）言語運営研究会（午前出張）  
北町西小学校学習発表会
- 17日（金）北町西小学校就学時健診  
（午後の指導は休み）
- 21日（火）ことばの教室学習発表会週間始め
- 28日（火）通級指導学級研究会（午後）

9月28日に入級検討会が開催され、10名の方が新入級となりました。少しずつ通級に慣れ、安心して通っていただけるように、保護者の皆様や在籍学級担任の先生方と連携していきたいと思っています。

通級時間に出会ったら、子供同士、保護者同士、仲良くなれたらよいと思います。



## ことばの教室 学 習 発 表 会

期間：11月21日（火）～12月4日（月）  
場所：ことばの教室 ぞうの部屋（プレイルーム）  
鑑賞：通級時間に、それぞれで鑑賞や発表をします。  
内容：好きなことや得意なことの紹介、クイズ  
ことばの教室で学習したことの紹介、作品展示、動画発表など



中川先生は、第七章「こころが育ち、ことばが伸びるために」の中で、**子どもの育ちはこれにつきます。**として、以下の5つを挙げておられます。（以下本文より抜粋）



- ①ほかの子と比べない
- ②ひとりひとりの興味や関心を大切にする
- ③できたことは認め、できないことに手立てを考える
- ④できたということ・できるようにするという結果だけに、目的をおかない。なにかができるようになろうと努力する過程を共有し、なにかができた達成感（「ヤッター感」）を共有しあう
- ⑤これらのことが、自分らしさ、自我の根っこ（自己の有能感）を育てる

子どもはそれぞれが特別な子どもです。育てにくさや、“障害”のきざしや、発達の遅さを持っている子は格段に「特別な」子どもです。特別な支援が必要です。（中略）

子どもとの暮らしが笑いに満ちていること。これは、子どもの発達を促すうえで予想以上に大切なことです。笑顔のなかにいれば、子どもは「安心していいんだ」と思えるからです。安心感が、探索する気持ち、知りたいと思う気持ちを育てます。学習の基礎です。（中略）

子どもは大人の思いどおりになるために生まれたものではありません。ほかの子と比較しないで、早く伸びろと言わないで、「君らしい速さで歩きなさい」「君なりの人生を生きればそれでいいんだ」と伝えたいものです。「棺のふた覆って 事定まる」と言います。棺に入ることになったとき、僕の、私の人生、悪いものじゃなかった、と思えるような、自分を好きな子に育てたいと心から思います。（中略）



「はぐくむ」ということばは、親鳥が羽の下に雛を包み込む（くくむ）さまに由来するといえます。子どもを育む母親を包む家庭、その家庭を包む地域社会や国家。幾重もの羽につつまれて、安心して子どもたちを育ててゆける社会になるように願います。（後略）



ことばの教室では、通級児童の興味関心に寄り添いながら、一人一人が安心して本来の力を発揮しつつ、ことばの力を伸ばせるような支援をしていきます。子供たちが自分自身を好きになるように、また保護者の方もご自身を大好きになっていただけますように支援していくことが、ことばの教室の役割だと考えています。（斉藤）